



南丹の“宝もの”、自然・歴史・文化、そして人を大切に——
「行ってみたい」「住みたい」まちをめざして、
輝く未来へとつながる魅力あるまちづくりをはじめます。



にぎわい、躍進、活力いっぱいの元気なまち

南丹市では、京野菜を中心とした農林業や京都新光悦村をはじめとする企業誘致などに取り組んでいます。京都新光悦村は、次代を担う産業拠点として、新たな雇用の創出と定住人口の増加につながるものと期待されています。さらに、2つの大学と3つの専門学校があり、多くの学生でにぎわっています。



伝統と先端のものづくり拠点・京都新光悦村に7社が進出を表明(京都府庁)



大野ダムもみじ祭り(美山町)



市内には明治鍼灸大学、京都医療科学大学(平成19年4月誕生)、京都国際建築技術専門学校(平成19年4月、京都建築大学校に校名変更)、京都伝統工芸専門学校(平成19年4月、京都伝統工芸大学校に校名変更)、公立南丹看護専門学校があり多くの学生でにぎわう



平成16年10月の台風23号で倒れた日本三景・天橋立の松を使い京都伝統工芸専門学校の生徒約60人が文殊菩薩像を平成18年4月に製作。宮津市の智恩寺に納められている



毎年所狭しと優良材が並ぶ林業振興展(八木町)



鮎の稚魚放流(美山町)